

まだまだスゴい 家電の世界

大河原克行



おおかわら・かつゆき 「週刊BC
N」編集長を経て独立。25年以上IT・
家電業界を取材する。著書に『松下から
パナソニックへ』世界で戦うブランド戦
略』（アスキー新書）など。

ロボットと一緒に飲むこと
ができる居酒屋が人気を集め
ている。東京・神田の「くら
きん神田本店」では、「飲み
ニケーションロボット席」を
用意。「Sota（ソー
タ）」と呼ぶロボットが、
「飲み友」として、場を盛り
上げてくれる。

日本マイクロソフトとヘッ
ドウォーター

スが共同開発
した「クラウ
ド型顧客おも
てなしサービ
ス」を採用。
マイクロソフ
トのAI技術
と、ヘッドウ
ォーターが
提供するクラ



居酒屋で活躍するロボット
「Sota（ソータ）」

居酒屋で「飲み友」になって くれるロボット Sota

乾杯の音頭はもとより、
「あれ、もう酔ってますよ」
「またその話かよ」「もう一
杯だけ飲んでいきましょう」
などとしゃべってくれる。

部長って、いつもそつです
よねえ」などと、普段言いに
くいくともロボットが代弁し
てくれる。iPhoneは5
台用意されているため、誰が
しゃべらせたかわからない。
フリートーク機能を使え

で、さまざまな機能をテスト
しながら、「飲み友」として
活躍している。

たとえば、ロボットに搭載
されたカメラを使って顔を登
録すると、次回来店したとき
に、「〇日ぶりですね」と声
をかけてくれる。来店客の好
みを聞いておき、お勧めのお
酒を教えてくださいといった

ウドロボティクスサー
ビスを統合し、ロボッ
トを動作させる仕組み
だ。

現在は実証実験中

ことも可能にしたいという。
実は、このロボットは、自
ら話しかけるような仕様は
なっていない。技術的には可
能だが、居酒屋では、周りの
声などがうるさいため、ロボ
ットが話の内容を一度で聞き
取れないといったことが起こ
りがちだ。ロボット側から会
話を始めると、盛り上がり
ている話題を止めてしまうこ
も想定される。そのため、ロ
ボットにありがちなAIを活
用した会話の機能は使わな
いようにしている。

その代わり、iPhone
（アイフォン）をコントロ
ーラーとして利用し、ロボッ
トにしゃべらせる機能を用意
した。「あじさい」「幹事」
「褒める」「共感」「ダメ出
し」「ひとつごと」の6カテゴ
リーに、それぞれに約10個の
言葉を用意しており、それを
押せばロボットがしゃべって
くれる仕組みだ。

ば、書き込んだ言葉をロボッ
トがしゃべる。社内で恋愛話
が噂になっている人に向かっ
て「私と〇〇さんのどちらが
好きなの？」などと聞いてみ
るといった使い方もできる。

慣れてくると、フリート
ークばかりを使っているお客
さまが多いですね」と、同店
を運営するゲイトの尾方里優
さんは語る。昨年12月に飲み
ニケーションロボット席を設

置してから「積極的な告知を
していないにも関わらず、飲
みニケーションロボット席を
予約するお客さまが多く、来
店数は前年同月比10%増にな
っている」といふ。

これからは送迎会や歓迎会
が増える時期。ロボットに盛
り上げ役を買ってもらおうの
ひとつの手だろう。

（ジャーナリスト、写真も）